



Title	IRIS-4Dの静止画出力装置について
Author(s)	出口, 弘
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1993, 88, p. 95-97
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/66006">https://hdl.handle.net/11094/66006</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# IRIS-4Dの静止画出力装置について

大阪大学大型計算機センター研究開発部

出口 弘

deguchi@center.osaka-u.ac.jp

## 1. はじめに

グラフィックワークステーション IRIS-4D/310VGX システム (cciris01) に待望の静止画出力装置（フルカラープリンタ）が付加されました。これによって、コンソール画面の全体および一部のハードコピー、ならびにイメージファイルのプリントアウトが可能となりました<sup>[1]</sup>。今回の表紙もこれで作成しました。

## 2. プリンタについて

導入されたプリンタは三菱電機（株）製の S3600-30 という昇華型のフルカラープリンタで、その概要は以下の通りです。印刷用紙は専用のものを使用します。紙の他にOHPシートに印刷することもできます。

印刷方式	昇華型熱転写方式
ドット密度	300 D P I
再現色	1670万色（各色256階調）
用紙サイズ	A4 (200.5×297mm)
印刷速度	約2分/枚

## 3. 使用方法

### 3.1 画面のハードコピー

コンソールのキーボードの右上の「Print Scrn」キーを押すことにより、コンソール画面の全体のハードコピーがとれます。また、「Shift」キーを押しながら「Print Scrn」キーを押すと、画面の一部分のハードコピーがとれます。赤い小さな枠が現れた後、マウスの左ボタンをドラッグする（コピー範囲の左上角でマウスのボタンを押し、そのまま移動しコピー範囲の右下角でボタンを放す）ことによってハードコピーする画面の部分を指定します。使い方の詳細は [1] のマニュアルを参照して下さい。

ハードコピーが終わるまで画面の状態はそのままにしておきます。

### 3.2 ファイルのプリントアウト

ディスクファイルのイメージデータをプリントアウトするには以下のようにします。

```
% s360 <FORMAT> <FILE_NAME>
```

また、s360 のみを入力すると以下のように使い方が表示されます。

```
% s360
Usage: s360 FORMAT FILE_NAME
      ex: s360 cdi test.rgb
           s360 rla test.0001.rla
           s360 sgi test.img
```

プリントアウトできるファイルのフォーマットと FORMAT オプションを以下に示します。

ファイルフォーマット	オプション
CDI	cdi
Wave Front	rla
Silicon Graphics	sgi

プリントスプール機能がありますので、印刷の終了を待たずに次の印刷コマンドを投入できます。

### 4. 課金について

フルカラープリンタの使用に関しては、印刷1枚につき300円の利用負担額となっております。

### 5. イメージファイルについて

#### 5.1 コンソール画面をイメージファイルとしてセーブする

3.1 に示した方法では、コンソールで指定した範囲の画面が直接ハードコピーされてしまい、指定範囲を確認することや複数のコピーを得ることはできません。画面を一旦ファイルにセーブし、確認した上で、3.2 に示した方法でプリントアウトすることもできます。

コンソール画面をイメージファイルにセーブするコマンドには、snapshot や imgsnap があり、イメージファイルを表示するコマンドには、imgview があります。

## 5.2 各種フォーマットから変換する

IRIS には各種の画像処理用ツールが準備されており、各種のイメージファイルフォーマットから IRIS イメージファイルフォーマット (sgi) に変換するツール (fromXXX) には以下のものがあります。また、それぞれ逆に変換するツール (toXXX) もあります。詳細は /usr/people/4Dgifts/iristools/imgtools の README をご覧ください。

コマンド名	ファイルフォーマット
fromalias	Alias
fromcube	Cubicomp/Vertigo
fromgif	Compuserve GIF
frommac	MacPaint
frompic	MOVIE BYU .PIC
fromppm	Jef Poskanzer's ppm
fromrla	WaveFront rla
fromsun	sun rasterfile
fromtarga	type 2 RGB TARGA
fromxbm	X bitmap
fromxwd	xwd
fromyuv	Abekas .yuv

## 6. おわりに

フルカラープリンタの導入によって、IRIS Explorer<sup>[2]</sup>によって可視化したイメージの静止画出力が得られるようになりました。ビデオシステム<sup>[3]</sup>を利用したアニメーションによるプレゼンテーションに加えて、さらに有効に利用して頂けるものと期待しています。

## 参考文献

- [1] 住商エレクトロニクス(株) : S 3 6 0 0 (フルカラープリンタ) の機能説明.
- [2] 出口 弘 : 汎用可視化ツール Explorer の使い方, 大阪大学大型計算機センターニュース, Vol. 22, No. 2, 1992-8.
- [3] 小林 一男 : IRIS-4D のビデオシステムについて, 大阪大学大型計算機センターニュース, Vol. 22, No. 2, 1992-8.